

高良とみ **平和運動家。戦前はタゴールの来日などに尽力、戦後は、日本人初のソ連入りなど、国際的に大活躍。**

こうらとみ

松隈内閣・1896 = 富山県高岡市で、鉄道技師和田義睦の長女に生まれる。母は邦子。

日露戦争終・1905 = **9歳** :

アヲチ 創刊・1908 = 12歳 : 新潟師範付属小学校を卒業し、新潟県立高等女学校に入学。

韓国併合・1910 = 14歳 : 父の転勤のため兵庫県立神戸女学校に転入学。

明治天皇没・1912 = 16歳 :

第一次大戦始1914 = **18歳** : 同校卒業。日本女子大英文学部入学。

民本主義・1916 = 20歳 : 軽井沢の女子大三泉寮でタゴールの詩と講話を聴く。

ロシア革命・1917 = 21歳 : 日本女子大を卒業し、**留学のため渡米。**

本格政党内閣1918 = 22歳 : コロンビア大学教育学部大学院に入学し、ホイティア寄宿舎に入る。ニューヨークの旅舎に**タゴールを訪ね、以後、文通。**

大暴落・1920 = 24歳 : マスター・オブ・アーツ学位を得る。ジョンズ・ホプキンス大学で飢餓の研究をする。

原敬首相暗殺1921 = 25歳 : ウィーンの第三回国際婦人平和自由連盟(WILPF)大会に出席。傍聴者として出席したロマン・ロランに会う。またクーデンホーフ・カレルギー男爵が汎ヨーロッパ運動を熱心に説くのを聞く。

水平社結成・1922 = 26歳 : **飢餓の研究によりドクター・オブ・フィロソフィー学位を得て、帰国。**

関東大震災・1923 = **27歳** : 九州帝国大学医学部精神科教室助手になる。***ソーシャルワークの先駆者ジェーン・アダムズ来日を実現し、同行。各地で歓迎会、講演会等開催。**

護憲三派圧勝1924 = 28歳 : 朝日新聞に依頼して、**タゴール一行を日本に招き、同行。通訳を務め、各地で歓迎会、講演会等開催。**

円本時代始・1926 = 30歳 : キリスト教平和団体、日本友和会結成、のち幹事になる。

金融恐慌・1927 = 31歳 : 日本女子大教授。科学的思考と生活の合理化を提唱。

世界恐慌・1929 = 33歳 : 精神医学者高良武久と結婚。のち、3女(2女留美子は詩人)をもうける。**タゴール来日、各地に同行。以来タゴールの画材として絵絹、筆、墨、絵具などを数回送る。**

満州事変・1931 = 35歳 : ***満州事変に反対し、中国の知識人と話しあうため上海へ。**

五一五事件・1932 = **36歳** : 上海の内山書店で**魯迅と会う。**

帝人疑獄事件1934 = 38歳 : 帝国女子医学薬学専門学校に家庭科学研究所を開き、所長となる。

芥川直木賞始1935 = 39歳 : **ガンジーを日本に招くためインドへ渡り、まずシャンティニケタンのタゴール邸の客となり、**

二二六事件・1936 = 40歳 : ミュリエル・レスターとともに**ワルダールにガンジーを訪れ、日中関係の仲裁を依頼する一方、**

日中戦争始・1937 = 41歳 :

大政翼賛会・1940 = 44歳 : **日中戦争の早期解決を求め新体制運動に協力。**

日米開戦・1941 = **45歳** : **大政翼賛会臨時協力会議員として中央協力会議に出席し、婦人局設置を要望。**

1942 = 46歳 : 日本女子大教授辞職。

創価学会検挙1943 = 47歳 : 石賀事件により憲兵隊の取調べを受け、日本友和会の解散を強いられる。

敗戦・1945 = 49歳 : 敗戦後、戦後対策婦人委員会委員。

新憲法公布・1946 = 50歳 : 広島県呉市政務第一助役(女性のため内務省は不許可)。呉に世界平和センター設立を計画。

新憲法施行・1947 = 51歳 : **民主党から立候補し、参議院全国区で当選。**

極東裁判決・1948 = 52歳 : 参議院文教委員として東京女高師の大学昇格を文部省、GHQに働きかけ、新憲法普及会員として全国遊説。

三大事件・1949 = 53歳 : 緑風会に移籍。**独立したインドに招かれ、世界平和者会議に出席、インド各地をまわる。**

朝鮮戦争始・1950 = **54歳** : **インド共和国憲法祝賀式典に参加。イタリアに行き、ローマ法王に会う超党派の婦人議員でダレス特使に面会し、憲法護持・再軍備反対・全面講和・人権尊重を申し入れる。**

独立回復・1951 = 55歳 : 日米安保条約批准に際し、参議院で反対票を投じる。

メデー事件・1952 = 56歳 : ***日本人として戦後はじめてモスクワに入り(鉄のカーテンをくぐった初の快挙として注目)、経済会議に出席、シベリアの日本人捕虜を慰問。帰途中国に招かれ、第一次日中民間貿易協定を締結。インドでネルー首相と会談し、日本人捕虜釈放問題の協力を依頼して、帰国。盛大な歓迎会に迎えられる。**

TV放送始・1953 = 57歳 : **これを機に、日本婦人団体連合会が結成され、副会長に就任。在華邦人帰国交渉のため日赤等三団体の代表と北京へ。交渉妥結し、帰国始まる。参議院全国区に緑風会より立候補、上位当選。**

自衛隊発足・1954 = 58歳 : 世界平和者日本会議を開く。ピキニ水爆実験で第五福竜丸被災、原水爆被害の惨状を世界に訴える。

55年体制始・1955 = 59歳 : **インドのネルー首相を日本に招くため運動、国際民主婦人団体連合会母親大会準備会に丸岡秀子らと出席し、アピール発表。イタリア民主婦人会議、アジア諸国民会議(ニューデリー)に出席。**

国連加盟・1956 = 60歳 : 売春防止法制定のため活動。**訪中し、周恩来総理と会見。**

なべ底不況・1957 = 61歳 : **国際民主婦人団体連合会母親大会実現。婦人国際平和自由連盟(WILPF)フランス大会に出席。**

美智子妃・1959 = **63歳** :

安保闘争・1960 = 64歳 : **原水爆実験反対会議(ガーナ)、民主婦人会議(デンマーク)、民主婦人軍結会議(モスクワ)に出席。**

タイタイ病始・1961 = 65歳 : **タゴール百年祭(カルカッタ)に出席。**

全国総合計画1962 = 66歳 : **訳書「タゴール詩集新月・ギタンジャリ」を上梓。アクラ大会(ガーナ)、軍縮会議(モスクワ)に出席。**

いざなぎ景気1966 = 70歳 : ***南米移民船で世界一周。各地の平和活動家と会い、平和運動の実情を視察。**

霞ヶ関ビル・1968 = **72歳** :

石油ショック1973 = 77歳 :

JALハイジャック・1977 = **81歳** :

1985 = 85歳 : **「人類はあい戦わず」の銘のあるタゴールの胸像を同志と軽井沢に建立し、**

ドイツ巡礼・1983 = 87歳 : **「非戦(アヒンサ)を生きる～高良とみ自伝」を上梓して、**

55年体制終・1993 = 97歳 : **没した。**

写真集「世界的にのびやかに 高良とみの行動的生涯」、「目でみる日本人物百科」、「日本の女性」